



### 市長提出議案

前ページから続き

#### ◆各特別会計補正予算

一般会計のほか、各特別会計等の補正予算も計上され、次のとおり可決しました。

- 下水道事業 3480万2000円の増額
- 農業集落排水事業 3046万7000円の増額
- 介護保険事業 財源組み替えのみ
- 水道事業会計 収益的支出 1501万7000円の増額
- 資本的収入 3218万3000円の増額
- 資本的支出 3億6981万5000円の増額

#### 市長の給与の特例に関する条例

平成27年7月1日から平成31年3月6日までの間における市長の給与を20%減額する条例が議案提出されました。

委員会にて可否同数（委員長裁決）により原案否決となり、本会議での採決も、委員長報告のとおり賛成多数で否決となりました。

否決

#### 吉川市介護福祉総合条例の一部を改正する条例

- ①緊急時通報システム 救急車の出動要請のみだった従来のシステムに、センター機能を業者委託する。利用者からの受電業務を業者に委託することにより、毎月1回の安否確認の実施や、心身の状況について相談を受けることが可能となります。
- ②介護保険料の軽減 公費による第一段階保険料を軽減します。

28,386円（改正前）  
←  
25,547円（改正後）

③保険料の減免申請期間の拡大 被保険者の減免申請に係る利便性を向上させるため、申請期限を納期限前7日から納期限前とし、減免申請期間の拡大を図ります。

#### 人事案件

##### ◆人権擁護委員

9月30日をもって任期満了となる亀田栄一氏の後任に、関根剛氏が選任されました。

#### 議員提出議案

##### 意見書

今定例会では、4件を上程し、次の2件を可決、内閣総理大臣等へ送付しました。（一部抜粋）

##### ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

我が国におけるウイルス性肝炎、特にB型・C型肝炎の患者及び感染者は合計350万人以上とされるほど蔓延している。ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成は、現在、肝炎治療特別促進事業として実施されているが、対象となる医療が限定されているため、医療費助成の対象から外れている患者が相当数に上る。特に、肝硬変・肝がん患者は高額な医療費を負担せざるを得ないだけでなく、就労不能の方も多く、生活に困難を来している。

##### 地方単独事業に係る国保の減額調整措置の見直しを求める意見書

今国会において「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」が成立し国保の財政基盤の強化や都道府県による財政運営に向けて具体的な改革作業が始まるところである。国保改革に当たっては国と地方の協議により、地方単独事業に係る国庫負担調整措置の見直しなどが今後の検討課題とされたところである。

一方、地方創生の観点から人口減少問題に真正面から取り組むことが求められており、全国の自治体では単独事業として乳幼児医療費の助成制度の拡充などに取り組む事例が多くみられる。さらに、平成26年度補正で用意された国の交付金を活用し対象年齢の引き上げなどの事業内容の拡充に取り組む自治体も報告されているところである。

こうした状況の中で、全ての自治体で取り組まれている乳幼児医療の助成制度など単独の医療費助成制度に対する国の減額

調整措置について、次のとおり早急に見直しを行うよう強く要請する。

- 1 人口減少問題に取り組むい
- わゆる地方創生作業が進む中、
- 地方単独事業による子ども達に
- 係る医療費助成と国保の国庫負
- 担の減額調整措置の在り方につ
- いて、早急に検討の場を設け、
- 結論を出すこと。

他1項目

### ◆中原市長不適切な発言で謝罪◆

6月5日の本会議の議案質疑答弁の中で、中原市長から反問権とも取られかねないような不適切な発言があり、質疑者並びに議会に対し謝罪する一幕がありました。

吉川市議会では、当日は議会運営委員会が開かれ、発言内容を精査した結果、不適切な発言があったと認定され、議会から市長に対し発言に注意するよう求めました。

#### 市長謝罪

先ほどの加藤議員に対する私の答弁の中で、反問権とも取られかねないような不適切な発言をいたしました。加藤議員並びに議会の皆様に深くお詫びを申し上げますとともに、先ほどの不適切な発言部分について削除をしていただきますようお願いいたします。

大変申し訳ございませんでした。

#### 反問権とは？

市長等が議長の許可により、議員に質問ができる権利のこと。本来、議会において市長等は説明員として出席するものであることから、吉川市議会では反問権を導入していません。

●新会派が  
結成されました●

#### しみん党

- ・降旗 聡(代表者)
- ・齋藤 詔治
- ・稲葉 剛治